

DIP
スイッチ

KHS
シリーズ

1,2,4,6,8,10
極

DIP スライド

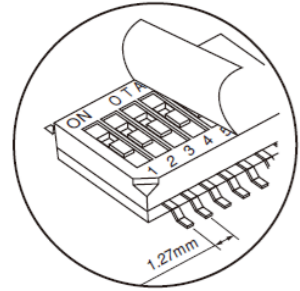
表面実装

シリーズの概要

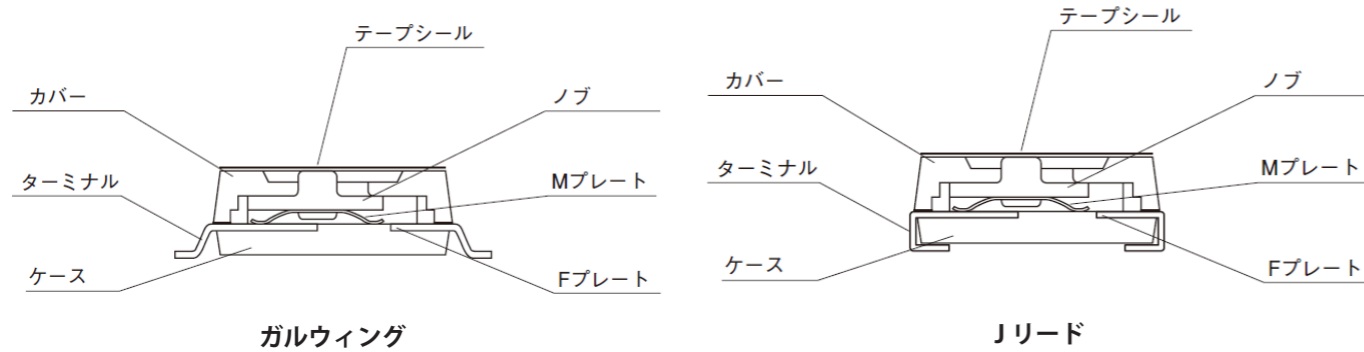
オータックスが世界に先駆けて開発したハーフピッチ面実装タイプのDIP スライドスイッチです。端子はガルウィングとJリードを用意しています。

シリーズの特長

1. 内部機構の超小型化により、ハーフピッチ (P=1.27mm) の超小型化を実現。
2. 高密度実装可能 (当社比 8 極にて面積 41.9%)
3. 接点は、金メッキ標準仕様。
4. 端子形状は、ガルウィングタイプ、Jリードタイプの 2 種類を用意
5. SMT マウンターによる自動実装、リフロー及び洗浄 (テープシールによる) 可能。自動実装に関してはテープリール、マガジン等の対応可能。



■ 構造図



共通仕様

定格	DC24V 25mA
接触抵抗	100 mΩ 以下 (初期値)
絶縁耐圧	AC300V 1 分間
絶縁抵抗	100M Ω 以上
電氣的寿命	1,000 回
使用温度範囲	-30°C ~ +85°C
保存温度範囲	-30°C ~ +85°C
動作力	4.9N 以下
リフロー回数	2 回以下

材料仕様		
部品名	材質	仕上げ
ノブ	液晶ポリマー	白色
カバー	PPS	黒色
ケース	PPS	黒色
ターミナル (接点部以外)	銅合金	金フラッシュ
M プレート (可動接点)	銅合金	金メッキ
F プレート (固定接点)	銅合金	金メッキ

※上記商品以外・カスタム品についてはお問い合わせください。

オータックス株式会社
〒223-8558 神奈川県横浜市
港北区新羽町 1215 番地



TEL: 045-543-5621 (代表)
Mail: sales@otax.co.jp
HP: https://www.otax.co.jp/

DIP
スイッチ

KHS
シリーズ

1,2,4,6,8,10
極

DIP スライド

表面実装

品名構成

操作部形状 極数 端子種別 梱包形態・入数 テープシール

K H S 8 2 **E**

シリーズ名

操作部形状	記号
スライド	S

極数	記号
1	12
2	22
4	42
6	62
8	82
10	102

端子種別	記号
ガルウィング	無し
Jリード	L

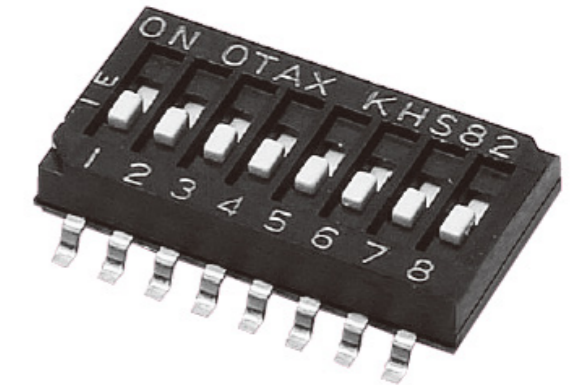
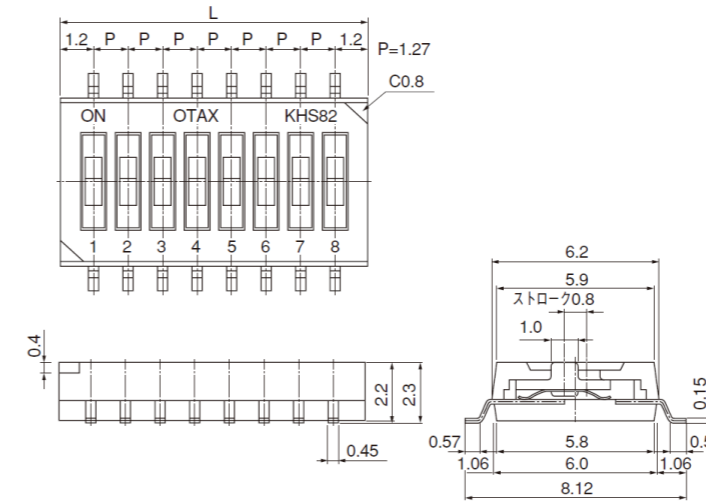
※Jリードは1極無し

梱包形態	記号
マガジン (ガルウィング)	C
マガジン (Jリード)	L
テープリール(2,000個/リール)	E
テープリール (100個/リール)	E100
テープリール (500個/リール)	EF

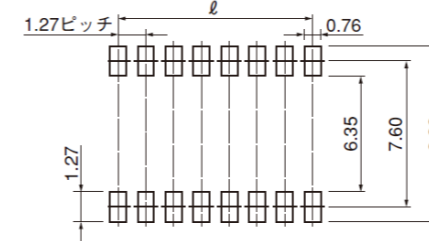
テープシール	記号
有	無し
無	-2

標準寸法 (ガルウィング)

ガルウィング KHS □□□□



取付ランド寸法



品名及び寸法

品名	極数	L (mm)	ℓ (mm)
KHS12 □□	1	2.40	0.00
KHS22 □□	2	3.67	1.27
KHS42 □□	4	6.21	3.81
KHS62 □□	6	8.75	6.35
KHS82 □□	8	11.29	8.89
KHS102 □□	10	13.83	11.43

※上記商品以外・カスタム品についてはお問い合わせください。

オータックス株式会社
〒223-8558 神奈川県横浜市
港北区新羽町 1215 番地



TEL: 045-543-5621 (代表)
Mail: sales@otax.co.jp
HP: https://www.otax.co.jp/

DIP
スイッチ

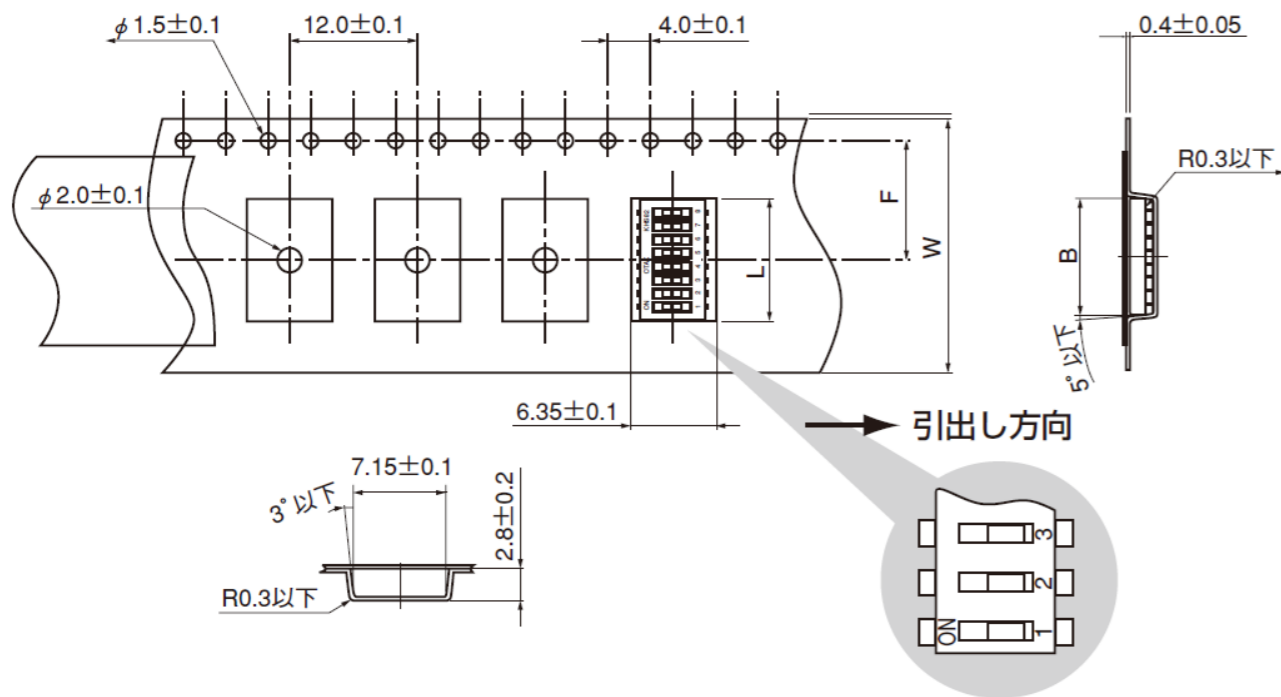
KHS
シリーズ

DIP スライド

表面実装

1,2,4,6,8,10
極

Jリード端子



極数	W ± 0.3	F ± 0.1	B ± 0.1	L ± 0.5
2	16.0	7.5	4.45	3.67
4			7.00	6.21
6			9.55	8.75
8	24.0	11.5	12.10	11.29
10			14.60	13.83

適用規格

JIS C 0806
TB0804 ~ TB2420
EIA-481-A
16, 24mm Embossed Tape

※上記商品以外・カスタム品についてはお問い合わせください。

オータックス株式会社
〒223-8558 神奈川県横浜市
港北区新羽町 1215 番地



TEL: 045-543-5621 (代表)
Mail: sales@otax.co.jp
HP: https://www.otax.co.jp/

DIP
スイッチ

KHS
シリーズ

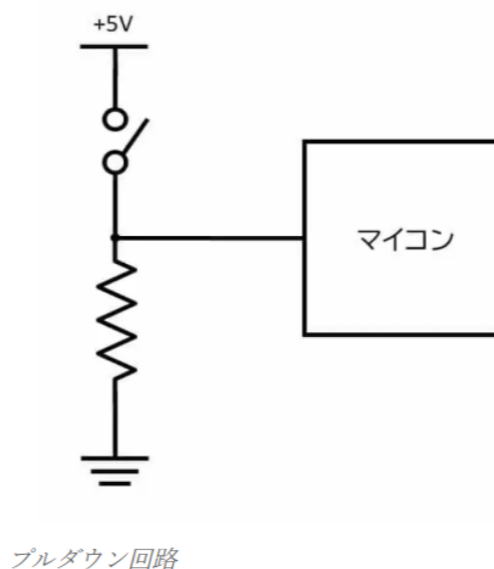
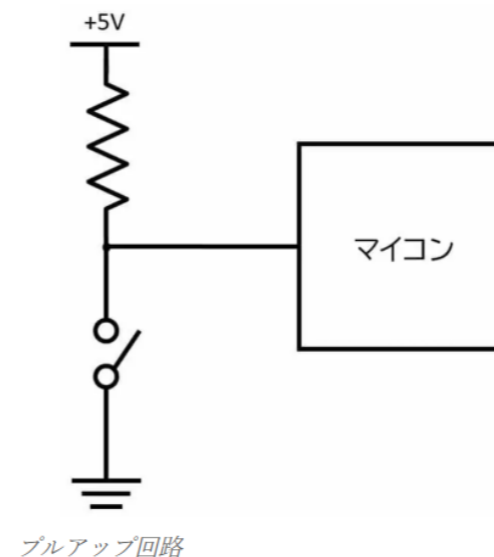
DIP スライド

表面実装

1,2,4,6,8,10
極

スイッチワンポイントアドバイス

マイクロプロセッサのプルアップとプルダウン



マイクロプロセッサの基礎として、最初にマイクロプロセッサを使った回路を作る時に、つまづきやすいのがプルアップ抵抗、プルダウン抵抗です。マイクロプロセッサの制御はご承知の通り、H (1) と L (0) の2つの値を使ったデジタル制御です。通常Hの方はVddと呼ばれる電源電圧 (5V、3.3V、1.7V など) につながります。これに対し、Lの方は何もつなげなければ0であろうと解釈するのはある意味間違いです。何故なら、マイクロプロセッサの端子に何もつないでいない状態はフローティング (浮いている) とか Hi-Z (ハイインピーダンス) と呼ばれ、電気的には不安定でノイズなどの影響を受けやすくなるからです。なので、使用する端子には、抵抗を介して電源 (Vdd) またはグラウンド (Vss) にそれぞれつながります。Vdd につなぐ場合をプルアップ (通常状態をHに設定)、Vss につなぐ場合をプルダウン (通常状態をLに設定) と言います。これによって各端子のHとLを電氣的に強制的に設定する訳です。ちなみにプルアップの場合、ここにDIPスイッチを接続した場合、スイッチをONにするとグラウンドに接続されるので、デジタル回路的にはL (0) になります。OFFにするとH (1) になります。

※上記商品以外・カスタム品についてはお問い合わせください。

オータックス株式会社
〒223-8558 神奈川県横浜市
港北区新羽町 1215 番地



TEL: 045-543-5621 (代表)
Mail: sales@otax.co.jp
HP: https://www.otax.co.jp/